

# 伊那弥生ヶ丘高校生徒と伊那市議会との意見交換会 報告書

伊那市議会では、政治や地域への若者の関心を高め、全員に投票に行ってもらうこと、議員に立候補したいと思う若者を増やすことなどを目的に、傍聴の呼びかけや意見交換を行っています。

今回は伊那弥生ヶ丘高等学校の生徒の皆さんからの「地域の探究的な学習」の成果発表と同時に、議会の意義や地域のすばらしさなどについての懇談を実施させていただきました。

## 1. 開催日程

令和5年3月20日（水）午後3：00～午後5：00 伊那市役所

午後3：00 全体会 探究学習発表 議場

午後3：30 グループ懇談 第1委員会室ほか

午後4：25 全体会 まとめ 議場

（グループごとの内容発表、生徒感想発表）

午後5：00 終了

## 2. 参加者

伊那弥生ヶ丘高校生徒13人、教員1人

伊那市議会議員20人、議会事務局職員4人

## 3. 探究学習発表

- |                          |       |
|--------------------------|-------|
| 1 地域と結びつきの強い高校へ          | 太田 鈴乃 |
| 2 究極の草とは（身近な野草をお茶にして楽しむ） | 石川 日菜 |
| 3 音のない旅を共に               | 河野 和真 |

## 4. グループ懇談

5 グループ（各グループ 生徒2～3人、議員4人）

会場 議長応接室・第1委員会室・第2委員会室・理事者控室・議員控室

- ① 自己紹介（「この地域の良いところ」など）
- ② 探求の学習の発表内容について
- ③ 議会のしくみや仕事について
- ④ その他生徒から要望したいことなど

## 5. 懇談の中で生徒から出された意見

- ① 交通の便が悪い（バス、電車）。電車の本数を増やしてほしい。12時台の電車が欲しい。
- ② 長谷から高校に通うのが不便。バスの便数が少ない。高校の部活や学校祭の準備など遅くまで残りたい時でも、親の迎えがなければ19時までしか学校に残ることができない。親に頼らず、自分の足で動けることができるとうれしい。夜は無理でも通学の時間帯だけでもバスの運行を増やしてほしい。（午前中に終わった時）12時台のバスも少ない。
- ③ カラオケなどでバスや電車を使うが、電車は1時間に1本と本数が少ない。30分に1回ぐらいにしてほしい。
- ④ 電車の数が少ない（模試の日の時間があと10分早ければ帰れたのに・・・）
- ⑤ いーなちゃんバスが100円だといい
- ⑥ 放課後の自習室が少ない。（特にテスト前だといなっせ、創造館はいっぱいであり、テスト前でなくてもいっぱいが多い。）電車の待ち時間に学習できる場所が欲しい。  
⇒もっと誰でも使える自習室があればうれしい。
- ⑦ 図書館やいなっせ、創造館などの場所や使い方を市民でないと知らない
- ⑧ 伊那新校「もやもや会」で、図書館やいなっせなどちゃんと勉強する場所はあるけど、高校生が「ちょっと待つ」みたいなゆるいスペースがない。？
- ⑨ 学校のWi-Fi等の電波が弱い。
- ⑩ 英語圏との交流の場はあるが、アジア圏の同世代との交流の場が欲しい
- ⑪ 子育て支援とお年寄りにやさしい街がいい。
- ⑫ 高校に通い始めて、伊那市の通り町が好きになった。だんだん街が変わっていくことは仕方ないと思うが、変わらない良さを残してほしい。

- ⑬ カフェなどの学生向けの施設が欲しい。
- ⑭ 高校生が遊べる、買い物できる場所がまとまっていない。駅から徒歩数分でいけるレジャー施設（映画館、ショップ）がない。
- ⑮ 都会のお店との品揃えの差を解消して欲しい。
- ⑯ 卒業後、地元に戻るにあたり、希望の就職先があるかどうかがかぎとなる。地元が決して嫌いではなく、子育てするなから都会よりも自分が育った田舎が良いと思っている。ただ、そのような理想と実際に就職先があるか等、現実とのギャップがある。
- ⑰ 新宿区の卒業式に、伊那市の友好都市としてアルストロメリアの花束を卒業生に贈ったことを知った。伊那市の学生には贈らないのか？地元のことを知るチャンスでもあるので、できたら贈ってほしい。
- ⑱ もっと議員に意見が言える機会があるといい。

## 6. 生徒から出された意見に対する検討結果

	出された意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通の便が悪い（バス、電車）。電車の本数を増やしてほしい。</li> <li>・長谷から高校に通うのが不便。バスの便数が少ない。親に頼らず、自分の足で動けることができればうれしい。</li> <li>・いーなちゃんバスが100円だといい。</li> </ul>
① ② ③	検討結果	<p>市には、伊那市の公共交通については、通学時間帯にバスが運行するよう利便性を高めるような時刻表の設定をお願いしていきます。</p> <p>電車については、JR飯田線活性化期成同盟会へ、高校生の要望として伝えます。</p>
④ ⑤	現状(市)	<p>伊那市内の路線バスは、以前はバス事業者が運行していましたが、利用者が年々減少する中で運行を続けることが困難になり、令和5年度時点ではジェイアールバス関東が運行する高遠線を除くすべての路線について、伊那市が経費を負担して運行を維持しています。路線バスの運行には多額の経費がかかりますので、これまでの利用状況を踏まえ、見直しを行う中で現在の運行内容となっています。今後も利用状況を踏まえながら、継続的に運行内容の見直しを行いますので、多くの高校生の皆さんに普段から路線バスを利用していただきますようお願いいたします。</p>

		<p>J R飯田線は、特に高校生の皆さんの通学に欠かせない、地域にとって非常に重要な公共交通です。沿線の市町村や商工団体などで構成するJ R飯田線活性化期成同盟会では、利便性の向上に向けて、毎年、沿線の各高等学校からの要望を取りまとめ、J R東海に伝えています。運行内容や施設の充実のため、今後も要望活動を継続していきますので、学校を通じて皆さんの声をお寄せください。</p>
⑥ ⑦ ⑧	出された意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後の自習室が少ない。電車の待ち時間に学習できる場所が欲しい。</li> <li>・図書館やいなっせ、創造館などの場所や使い方を市民でないと知らない。</li> <li>・図書館やいなっせなどちゃんと勉強する場所はあるけど、高校生が「ちょっと待つ」みたいなゆるいスペースがない。</li> </ul>
	検討結果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市には、伊那北地域活性化センター（きたっせ）について、高校生も自由に利用できるよう利活用の検討をお願いします。</li> <li>2. 県立高校再編やリニア中央新幹線開業を見据えた中心市街地などのまちづくり事業に係る協議会等へ、高校生たちが使用する自習室や短時間でも立ち寄れる場所をつくるなど、居場所づくりの要望を届けていきます。</li> <li>3. 産業と若者が息づく拠点施設（allla）が利用できることについて、高校生にも届くように周知を要望します。</li> </ol>
	現状(市)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 伊那北地域活性化センターの管理運営は、指定管理者である「きたっせ活性化委員会」が行っています。施設は、中心市街地の商業振興及び地域の活性化を目的とし、年間を通して事業者の物販や地元山寺区の会議や事業の利用が多くある状況です。指定管理者としては、本来の目的に沿った利用を優先する状況にあり、施設の管理運営面への影響もあるため、自習室の設置は難しいと考えています。</li> <li>2. 伊那市では、将来を見据えた新たなまちづくりを実施するために、(仮称)伊那市まちづくり推進事業を立ち上げました。この事業では、行政だけではなく、企業などの経済団体、市街地の活性化に繋がる活動を行う市民団体などに加えて、大学や高等学校などの教育機関も含めて、「まちづくり推進協議会」を設立する予定です。この協議会では、高校生からも現状の課題やまちづくりに期待することを提言していただきたいと考えていますので、その際には、今回の意見も含めて提言をお願いします。</li> </ol>

		<p>3. alla の学習室は、令和 2 年 4 月オープン以降、通算 188 人（高校生 147 人、中学生 39 人、その他 2 人）の学生が利用登録しており、令和 4 年度は 1 年間で延べ 1,550 人の利用がありました。令和 4 年度は、市報 10 月号の商工施設特集や、各種選挙時の高校生投票事務従事者説明会等の場として活用し、学習室の周知に努めました。14 席と規模が小さいこともあり、現在でもテスト期間前等は一杯になってしまうこともあります。引き続き機会を捉えて周知を図っていきます。</p> <p>4 高校生の利用できる学習室、学習スペース</p> <p style="text-align: center;">※詳しくは各施設にお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いなっせ ・伊那図書館 ・創造館 ・alla（アルラ） ・伊那公民館</li> <li>・てらとぴあ（手良公民館） ・西箕輪ぬくもり館（西箕輪公民館）</li> <li>・西春近公民館</li> </ul> <p>5 子どもの居場所として「伊那まち B A S E」が通り町にあります。地域の子どもたちが気軽に立ち寄れる場所として、学習支援、居場所の提供、食事の提供をしています。小学生から高校生までの子どもたちが、宿題や友達との会話、お菓子作りなどの時間を過ごせるよう、専門のスタッフを配置して N P O 法人が運営しています。平日午後 3 時から 6 時は子どもが自由に利用できる“子どもの時間”となっています。ぜひ一度立ち寄ってみてください。（連絡先：伊那まち B A S E 電話 78-7001）</p>
⑩	<p>出された意見</p> <p>検討結果</p>	<p>英語圏との交流の場はあるが、アジア圏の同世代との交流の場が欲しい。</p> <p>高校生のための同世代の外国の人たち（アジア圏など）との交流の場作りや（インターネット上でも良い）、交流行事、イベント等があれば、高校生に周知するよう要望します。</p>

	現状(市)	<p>伊那市が主催する国籍、世代を限定した交流行事は現在のところ予定しておりませんが、他団体が実施する事業等の情報を得た場合は周知に努めます。</p> <p>なお、地域に住む外国人の日本語学習をサポートする「伊那日本語教室」には、様々な国籍の方が学習に参加されています。ボランティアも随時募集しておりますので、興味がある方は見学にお越しください。申し込み等は必要ありません。（連絡先：伊那市役所文化交流課 電話 78-4111）</p> <p>生涯学習センター（いなっせ）</p> <p>「さくら組」毎週木曜日午後1時～2時30分 毎週土曜日午後2時30分～4時 毎週日曜日午前10時～11時30分</p> <p>「さくら組ジュニア」（小学生～高校生向き）</p> <p>毎週土曜日午後1時～3時</p> <p>伊那公民館 「さくら組」毎週土曜日午前10時～11時30分</p>
	出された意見	子育て支援とお年寄りにやさしい街がいい。
	検討結果	伊那市が子育て支援や、お年寄りにやさしい街づくりに力を入れており、成果を出していることは承知しています。しかし、そのことについて若い世代、特に近い将来この地域を担う高校生に情報が届いていないと感じています。今後、若い世代への周知方法をどのように考えているかお聞かせください。
⑪	現状(市)	<p>伊那市では75歳以上のみなさんへ「暮らしいきいき応援券」を交付したり、お年寄りが生活で必要とする様々な支援に応じた事業を行うほか、出来るだけお元気に暮らし続けることができるような施策を行っていて、近い将来高齢者に携わる職業に就くかもしれない高校生のみなさんには、より身近に感じていただく必要があると思っています。こうした情報についてはホームページや広報誌などを通じて広く周知を図り、伊那市社会福祉協議会への委託事業としてボランティア活動推進を行っており、高校生ボランティアとして協力いただいている方もいます。これからもさらにボランティアの育成支援や小中高生での福祉体験学習を通じて、お互いを思いやるという意識の醸成に積極的に取り組み、情報に触れる機会を増やしていきたいと思っています。</p>



⑰	出された意見	新宿区の卒業式に、伊那市の友好都市としてアルストロメリアの花束を卒業生に贈ったことを知った。伊那市の学生には贈らないのか？地元のことを知るチャンスでもあるので、できたら贈ってほしい。
	検討結果	伊那市内の小中学校の卒業生などに贈ることができるようぜひ検討してほしいと考えます。
	現状(市)	新宿区については、伊那市の花き農家支援と、伊那市の花のPRを兼ねて小中学校にアルストロメリアの花束を贈っています。 一方で、伊那市では平成26年度から、市内の全小学校に対して「花育事業」を実施しています。毎年5月に伊那市内の全小学校に対して、アルストロメリアの花束をクラスごと全校に贈呈するとともに、小学3年生を対象に、栽培の様子やアルストロメリアについて説明したDVDを使い花育事業を実施し、地元の花を知る機会を設けています。こうした経過から、今後も引き続き花育を通じたPRを行っていきたいと考えております。
⑱	出された意見	もっと議員に意見が言える機会があるといい。
	検討結果	多くの高校生との意見交換ができるように、伊那弥生ヶ丘高校のほかにも議会側から高校へ出向いて、意見交換会等が実施できる機会を増やします。 学校経由で議会についてのチラシを高校生に配布し、チラシに記載してあるQRコードから議会に関するアンケートに答えていただくことで、意見を言える機会を設けていきます。



全体会 探究学習発表





グループ懇談



全体会 感想発表



全員で記念撮影